

製品名: フィブリラリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01986**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	FBL
別名	FIB; FLRN; Nop1; RNU3IP1
遺伝子 ID	2091
SwissProt ID	P22087
免疫原	ヒトフィブリラリンの合成ペプチド

背景

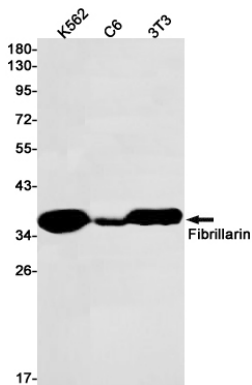
フィブリラリンは、核小体の線維状領域およびカハール体に存在する 2'-O-メチルトランスフェラーゼであり、RNA 転写および pre-

RNA プロセシングが行われます。フィブリラリンは、他のいくつかの構造タンパク質およびボックス C/D snoRNA と会合して複合体を形成し、pre-rRNA プロセシング、pre-rRNA メチル化、およびリボソーム組み立てに機能します。この複合体は、rRNA 配列内の標的ヌクレオチドの部位特異的な 2'-O-リボースメチル化を触媒します。フィブリラリンの配列、構造、および機能は高度に保存されており、フィブリラリン遺伝子の発現は初期胚発生に不可欠です。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



フィブリラリン抗体を使用した K562、C6、3T3 溶解物中のフィブリラリンのウエスタンブロット分析。